

福谷公舎 屋上防水・外壁改修工事

A】建築工事	
00. 表紙・図面リスト	11. 立面図
01. 建築改修工事特記仕様書（その1）	12. 矩計図・部分詳細図
02. 建築改修工事特記仕様書（その2）	13. 天井伏図その1
03. 建築改修工事特記仕様書（その3）	14. 天井伏図その2
04. 外壁改修工事特記仕様書	15. 展開図その1
05. 配置図・案内図	16. 展開図その2
06. 仮設計画図（参考）	17. 建具表
07. 1階平面図	18. クラック位置図その1（参考）
08. 2階平面図	19. クラック位置図その2（参考）
09. 3階・4階平面図	20. クラック位置図その3（参考）
10. 屋根伏図	21. クラック位置図その4（参考）

令和 6年 7月

公立大学法人 福井県立大学



京福コンサルタント株式会社
福井県小浜市多田1-1号2番地1 TEL: (0770)56-2345
一級建築士事務所 福井県知事登録第い-871号
一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝

令和 6年 7月

工事名称
福谷公舎 屋上防水・外壁改修工事

図面名称
表紙・図面リスト

縮尺
NO SCALE

図面番号

A 00
21

1. 専門工事業者

2. タイル接着力試験

3. ひび割れ部改修工法

4. 欠損部改修工法

5. 浮き部改修工法

6. 目地改修工法

※監督員の承諾する専門工事業者
保証期間 ※5年間

※行う ・行わない

※樹脂注入工法 [4.2.2][4.3.4]

種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	200~300	※130
※手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	※40
※機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	※70
	0.5以上~1.0未満	150~250	※130

建築補修用注入エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形
コア抜き確認 ・ 行う (抜き取り部の補修方法:)

・ Uカットシール材充填工法 [4.2.2][4.3.5]
・ シーリング材充填
充填材料
※1成分または2成分形ポリウレタン系 ・
ポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ タイル部分張替え工法 [4.5.7]
接着材 [4.2.2]
※ポリマーセメントモルタル
・ 変成シリコーン樹脂 (JIS A 5557)
・ ウレタン樹脂 (JIS A 5557)
張付け材料
既成調合モルタル ・ 使用する

・ タイル張替え工法 [4.2.2][4.5.8]
張付け材料
既成調合モルタル ・ 使用する
張付け工法
外装タイル ※密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り [4.5.8][表4.5.3]
・ 外装壁タイル接着剤張り
外装ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 外装壁タイル接着剤張り
伸縮調整目地および、ひび割れ誘発目地
位置 ※改修標準仕様書表4.5.11による ・ 図示
目地寸法 (mm) (幅×深さ)
コケリ打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※20以上×10以上
その他 ※10以上×10以上 ・ 10以上×7以上

改修工法の種類	ひび割れの長さ (mm)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		充填量 (ml/箇所)	注入量 (ml/箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部		
アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	—
アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	※25
アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	※50
注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25	—
注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	※25
注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	※50
注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	—	—	—	—	※25	※25

アンカーピン [4.2.2]
※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。

注入口付アンカーピン [4.1.4][4.2.2]
※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm

・ タイル部分張替え工法 [4.5.7]
接着材 [4.2.2]
※ポリマーセメントモルタル
・ 変成シリコーン樹脂 (JIS A 5557)
・ ウレタン樹脂 (JIS A 5557)
張付け材料
既成調合モルタル ・ 使用する

・ タイル張替え工法 [4.2.2][4.5.8]
張付け材料
既成調合モルタル ・ 使用する
張付け工法
外装タイル ※密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り [4.5.8][表4.5.4]
・ 外装壁タイル接着剤張り
外装ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 外装壁タイル接着剤張り
伸縮調整目地および、ひび割れ誘発目地
位置 ※改修標準仕様書表4.5.11による ・ 図示
目地寸法 (mm) (幅×深さ)
コケリ打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※20以上×10以上
その他 ※10以上×10以上 ・ 10以上×7以上

・ 目地ひび割れ部改修工法 [4.2.2][4.5.16]
既成調合モルタル ・ 使用する

・ 伸縮目地改修工法 [4.2.2][4.5.16]
伸縮目地の位置 ※図示
伸縮目地の寸法 幅 (mm) :
深さ (mm) :

1. 既存塗膜等の除去および下地処理

2. 下地調整材

3. 仕上げ塗材仕上げ

4. 錆止め塗料塗布

4.6.3

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上面全体	・ひび割れ部改修工法
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体	・浮き部改修工法
・塗膜はく離工法	※既存仕上面全体	・欠損部改修工法
・水洗工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

※下地調整塗材 [4.6.3]
・ポリマーセメントモルタル
・防水形仕上げ塗材

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 (18.1.3)
※F☆☆☆☆

塗装業者
・塗装工事および仕上げ塗材仕上げの塗り面積の合計が概ね500㎡以上の工事、または塗装専門業者が元請業者である工事
※日本塗装工業会の会員 (「日本塗装工業会指導要領」に基づき、指導員の指導を受けること。)
・上記に該当しない工事
※監督員の承諾する業者

新規仕上げ塗材の種類 [4.1.5][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S I	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材 S	・	・ゆず肌状 (・吹付け ・ローラー塗り)
	・外装薄塗材 E	・	・さざ波状 ・平たん状
	・可とう形外装薄塗材 E	・	・凹凸状 (・吹付け ・こて塗り)
	・防水形外装薄塗材 E	・	・着色膏材砂壁状 (・吹付け ・こて塗り)
	・外装薄塗材 S	・	・砂壁状じゅらく
	・内装薄塗材 W	・	・京壁状じゅらく
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材 C	・	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状
	・外装厚塗材 S I	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし
	・外装厚塗材 E	・	・上塗材 ・適用する
・複層仕上塗材	・複層塗材 C E	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様
	・可とう複層塗材 C E	・	・上塗材
	・複層塗材 S I	・	・耐蝕性 ※耐蝕形 3種
	・複層塗材 E	・	・溶媒 ※水系 ・溶剤系
	・複層塗材 R E	・	・樹脂 ※アクリル系
	・防水形複層塗材 C E	・	・外観 ※つやあり ・つやなし
	・防水形複層塗材 E	・	・メタリック
	・防水形複層塗材 R E	・	・増塗材 ・適用する
・可とう系改修用	・可とう系改修塗材 E	・	・平たん状
	・可とう系改修塗材 R E	・	・さざ波状
仕上塗材	・可とう系改修塗材 C E	・	・ゆず肌状
・マステック塗材	・A種	・	・凸部処理 ・行う
	・B種	・	・仕上材 ・アクリル樹脂エマルジョン ※つや有合成樹脂エマルジョンペイント

外壁用塗膜防水塗 [4.1.5]
仕上げの形状 ・ 工法 ・
外壁用塗膜防水塗の耐蝕性 ※JIS A 6909の耐蝕性 1種相当
下地劣化補修材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない
吹付け工法の仕様材の種類 ・ 所要量 (kg/㎡)
外壁用仕上塗材の種類 ・ 所要量 (kg/㎡)

1. 材料

2. 塗装業者

3. 下地調整

4. 錆止め塗料塗布

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 [7.1.3]
※F☆☆☆☆

防火材料 [7.1.3]
・屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする (箇所)

・塗装工事および仕上げ塗材仕上げの塗り面積の合計が概ね500㎡以上の工事、または塗装専門業者が元請業者である工事
※日本塗装工業会の会員 (「日本塗装工業会指導要領」に基づき、指導員の指導を受けること。)
・上記に該当しない工事
※監督員の承諾する業者

既存塗膜の除去範囲 (塗替えてR種の場合) [7.2.1][表7.2.1~7.2.7]
※塗替え面積の30% ・ 図示

下地調整 [7.2.2~7.2.7][表7.2.1~7.2.7]

下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修
	塗替え	新規	
木部	※R B種	・ R A種 ・ R B種	
鉄鋼面	※R B種	・ R A種	
垂鉛めつき鋼面	※R B種	・ R A種	
垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具)	※R B種	・ R C種	
モルタル、プラスター面	※R B種	・ R A種 ・ R B種 ・ 行う	
コンクリート、ALCパネル面	※R B種	・ R A種 ・ R B種 ・ 行う	
コンクリート、押出成形セメント板面	・	・ R A種 ・ R B種 ・ 行う	
せっこうボード、その他ボード面	※R B種	・ R A種 ・ R B種	

錆止め塗料塗布の種類 [7.3.2~7.3.3][表7.3.1~7.3.4]

鉄鋼面	塗装面		塗料	工程
	屋内 (EP-G以外)	屋外		
垂鉛めつき鋼面	塗替え	※A種 1種	・	※C種
	新規鉄鋼面見え隠れ	※A種 1種	・	※A種
	塗替え	※A種 1種	・	※B種
	新規鉄鋼面見え隠れ	※A種 1種	・	※B種
垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具)	塗替え	※B種	・	※C種
	新規鉄鋼面見え隠れ	※B種	・	※A種
	塗替え	※B種	・	※B種
	新規鉄鋼面見え隠れ	※B種	・	※B種
鉄鋼面	塗替え	※A種	・	※C種
	新規鉄鋼面	※A種	・	※A種 ・ B種
	新規鋼製建具	※A種	・	※A種
	塗替え	※C種	・	※C種
鉄鋼面	塗替え	※C種	・	※A種 ・ B種
	新規鉄鋼面	※C種	・	※A種 ・ B種

5. 塗装

7.4.2~7.14.2 [表7.4.1~7.14.1]

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
・合成樹脂調合ペイント塗り	木部	※B種	※A種 (外部) ※B種 (内部)
	鉄鋼面	※B種	・ A種 ・ B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り	木部	※B種	
	鉄鋼面	※B種	・ A種 ・ B種
・フタル酸樹脂エマルジョン塗り	木部	※B種	
	鉄鋼面	※B種	・ A種 ・ B種
・耐候性塗料塗り	鉄鋼面 上塗り等級 () 級	※B種	・ ※A種
	垂鉛めつき鋼面 上塗り等級 () 級	※B種	・ ※A種
・つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	・	
	押出成形セメント板面	・	
・つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート・モルタル・プラスター・せっこうボード面等	※B種	・ A種 ・ B種
	屋内木部	※B種	※A種
	屋内鉄鋼面	※B種	・ A種 ・ B種
	屋内垂鉛めつき鋼面	※B種	・ A種 ・ B種
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート・モルタル・プラスター・せっこうボード面等	※B種	・ A種 ・ B種
	コンクリート・モルタル・プラスター・せっこうボード面等	※B種	・ A種 ・ B種
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り	コンクリート・モルタル・プラスター・せっこうボード面等	※B種	・ A種 ・ B種
	下地調整 R B種	※A種	
	下地調整 R C種	※C種	
・ウレタン樹脂ワニス塗り	木部	※B種	
・オイルステイン塗り	木部 塗料 (・油性・水性)		
・木材保護塗料塗り	木部	※B種	

合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 ※1種 [7.4.2]

つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プラスター面、[7.9.2] せっこうボード面、その他ボード面) の塗替えの場合のしきり
※改修仕様仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしきりしめる
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり
※改修仕様仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしきりしめる

1. あと施工アンカーの材料 [8.2.4]

金属材料	呼び径 (mm)	埋込深さ (mm)	引張耐力 (kN)	せん断耐力 (kN)	備考
※本体打込み式改良型					

接合筋の種類、径、長さ ※図示

・接着系

種類	呼び径 (mm)	埋込深さ (mm)	引張耐力 (kN)	せん断耐力 (kN)
※カプセル式 回転・打撃式				

アンカー筋の径および埋込深さ ※図示
接着剤の品質 ※有機系 ・ 無機系
アンカー筋の種類 ※表8.2.1の異形種類 ・ 図示
アンカー筋の新設壁内への定着長さ ※頭部ナット付き 20d
・ 頭部ナット無し 30d (dはアンカー筋径)

2. あと施工アンカーの確認試験 [8.2.4]

性能確認試験 [8.2.4]
※実施しない
・実施する (試験方法及び試験数 ・ 図示)

施工確認試験 [8.12.7]
※実施する
試験方法 ※引張試験 ・
確認強度 ※図示 ・
・実施しない

穿孔前の埋込み配管等の検査 [8.12.4]
※鉄筋探知器 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う
・ はつり出しによる

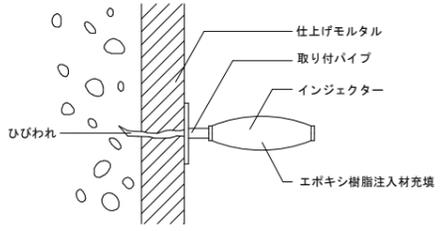
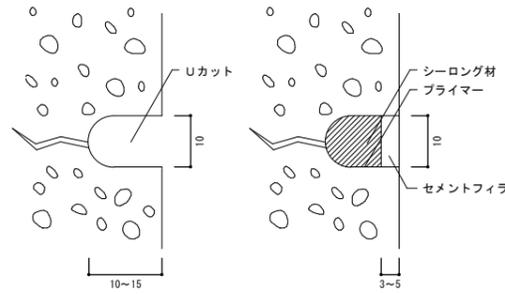
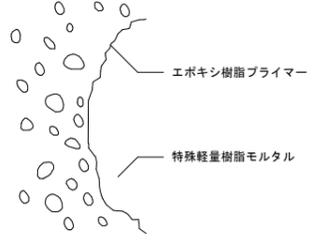
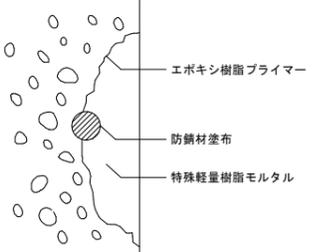
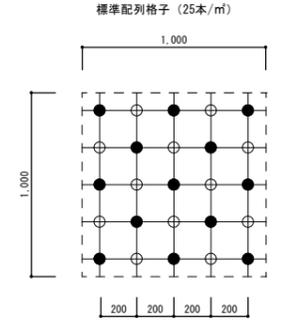
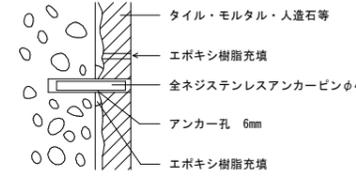
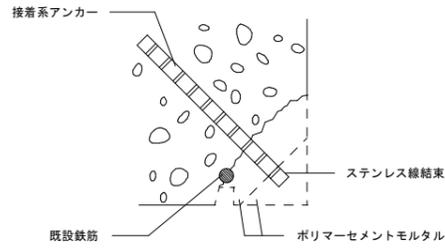
3. シアコネクタ

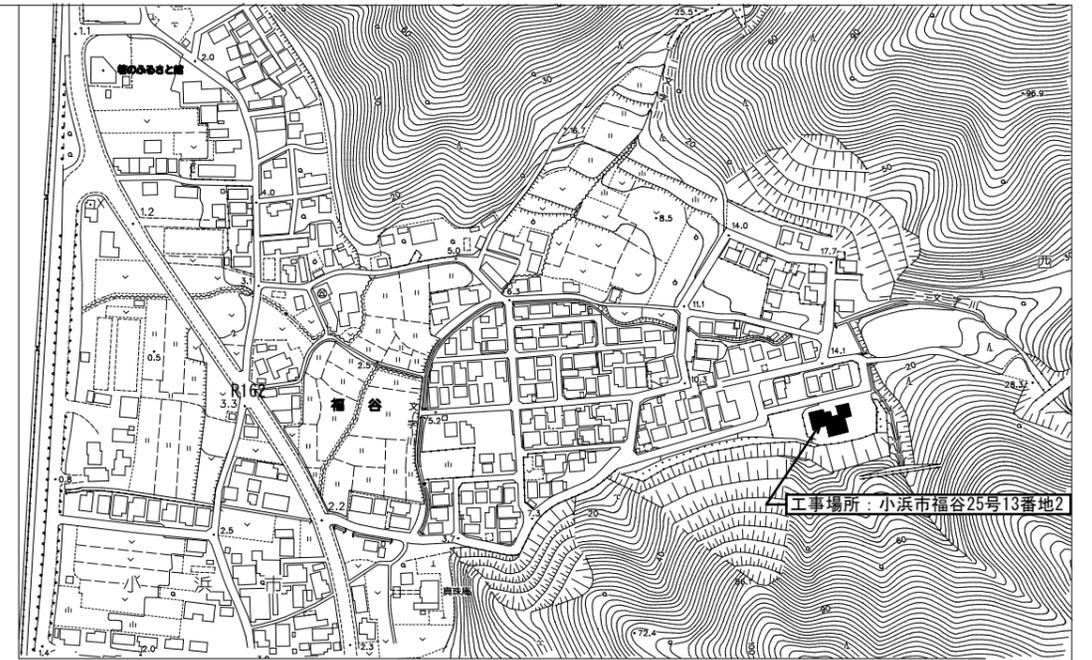
現場打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ種類 ※金属拡張系と施工アンカーの異形筋アンカー
径 (mm) ※D10
長さ (mm) ※8d (d:シアコネクタの径)
埋込み深さ (mm)
間隔 (mm) ※500×500

シアコネクタとセレーターの兼用 [8.7.8]
※兼用してもよい ・ 兼用しない

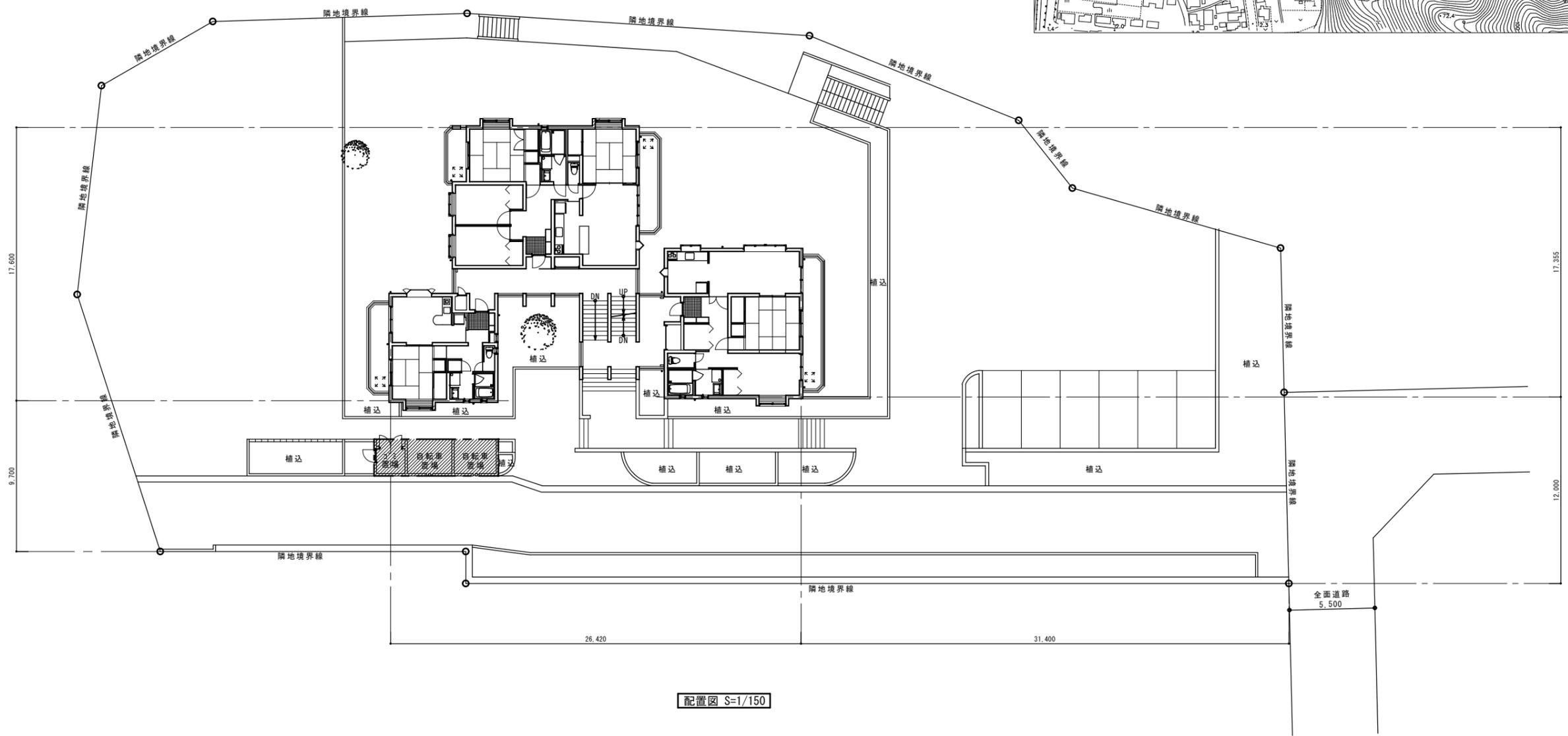
4. 穿孔機械
・ハンマードリル
※低騒音、低振動型穿孔機 (ダイヤモンドコアドリル、ハイブリッドコアドリル、ミストドリル、ソノドリル等)

外壁改修工事 特記仕様書

ひびわれ補修	ひびわれ補修	欠損補修	浮き補修	大規模欠損補修
<p>エポキシ樹脂注入工法 (0.2mm~1.0mm未満)</p>  <p>自動式定圧エポキシ樹脂注入工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 表面処理 ひび割れに沿って5cm程度の幅で、ワイヤーブラシ等を用いて、レイタンスやほこりを除去する。 取付パイプの接着 取り付けパイプをひび割れの中心位置にエポキシ樹脂シール材にて取り付け。 シール工 ひび割れをエポキシ樹脂シール材にてシールを行う。 低圧注入器具にて注入材充填 定圧注入器具にてエポキシ樹脂を注入する。 注入パイプ及びシール材の撤去 硬化養生後、注入パイプ及び表面のシール材をタガネ、ワイヤーブラシ、ディスクサンダー等で除去する。 <p>軽微なひび割れ (0.2mm未満)</p> <p>シール工法にて補修を行う。</p>	<p>Uカットシーリング材充填工法 (1.0mm以上)</p>  <p>Uカットシーリング材充填工法</p> <ul style="list-style-type: none"> Uカット ひび割れに沿って、幅10mm、深さ10mm~1mm程度のU字型の溝を設ける。 溝内の清掃 Uカット溝内部の切粉等をワイヤーブラシ、刷毛等で除去し、清掃する。 プライマー塗布 プライマーを溝内部に塗り残しのないように均一に塗布する。 充填 溝内へ、シール材をコーキングガンで、空隙や打残し等のないよう加圧しながら充填し、表面を平滑に仕上げる。シーリング材は、コンクリート表面から3~5mm程度低めに充填する。 仕上げ シーリング材硬化後、セメントフィラーを用いて、壁面と均一になるように、へら、刷毛等を用いて仕上げる。 養生 シール材が硬化するまでは、損傷、汚染等のないようにする。また、雨等からも養生する。 清掃 シール部以外の汚れを除去し、清掃する。 	<p>軽量エポキシ樹脂モルタル充填工法</p>  <p>軽量エポキシ樹脂モルタル注入工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 表面処理 ホコリは、ワイヤーブラシ等を用いて除去を行う。 プライマー塗布 エポキシ樹脂系プライマーをコンクリート面に塗布する。 打設工 プライマーの塗布後、直ちに特殊軽量樹脂モルタルを所定の面まで充填する。 仕上げ 塗布後、表面を金ゴテにて仕上げる。 <p>露出筋補修 (バクレツ)</p> <p>軽量エポキシ樹脂モルタル充填工法</p>  <p>自動式定圧エポキシ樹脂注入工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 表面処理 ホコリは、ワイヤーブラシ等を用いて除去を行う。 防錆材塗布 鉄筋に防錆材を塗布する。 プライマー塗布 エポキシ樹脂系プライマーをコンクリート面に塗布する。 打設工 プライマーの塗布後、直ちに特殊軽量樹脂モルタルを所定の面まで充填する。 仕上げ 塗布後、表面を金ゴテにて仕上げる。 	<p>浮き補修</p>  <p>アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</p>  <p>アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</p> <ul style="list-style-type: none"> アンカーピン部 削孔 直径6mmのコンクリートドリルを用い、躯体コンクリート中に30mmの深さに達するまで行う。さっ孔後、十分孔内を清掃する。 アンカーピン 固定部 グリースガンを用いて、エポキシ樹脂を最深部より徐々に、充填する。 アンカーピン 挿入 直径4mmのステンレス製 (SUS304) 全ネジアンカーピンを挿入する。 残存浮部の削孔 コンクリートドリルを用いてさっ孔を行う。 残存浮部の注入 グリースガンを用いて、注入材を徐々に未注入部が残らないよう注入する。 養生 注入材の硬化養生を行う。 	<p>大規模欠損補修</p>  <ul style="list-style-type: none"> 表面処理 ホコリは、ワイヤーブラシ等を用いて除去を行う。 防錆材塗布 鉄筋に防錆材を塗布する。 アンカー打設 躯体面に接着系アンカーを打設し、ステンレス線でアンカーを結束する。 プライマー塗布 エポキシ樹脂系プライマーをコンクリート面に塗布する。 打設工 ポリマーセメントモルタルを所定の面まで充填する。深さ40mmを超える部分は櫛目を入れて、翌日プライマー塗布、再充填を行う。 仕上げ 充填後、表面を金ゴテにて仕上げる。



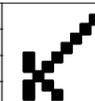
工事場所：小浜市福谷25号13番地2



配置図 S=1/150

特記事項

▨ : 工事対象範囲外とする。



京福コンサルタント株式会社
福井県小浜市多田11号2番地1 TEL : (0770) 56-2345
一級建築士事務所 福井県知事登録第I-871号
一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝

令和6年7月

工事名称
福谷公舎 屋上防水・外壁改修工事

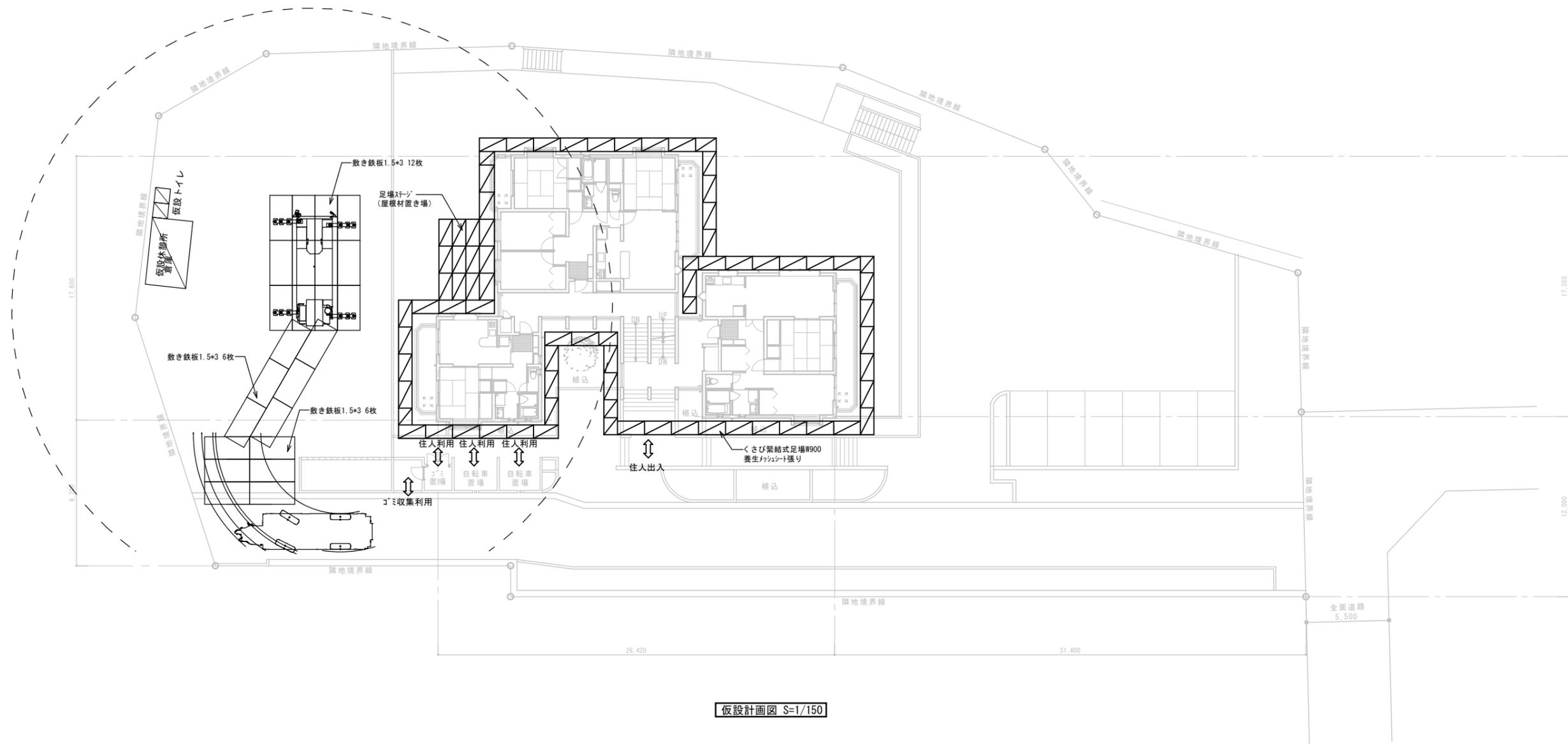
図面名称
配置図・案内図

図面番号
A 05
21
縮尺
A1 : 1/150
A3 : 1/300

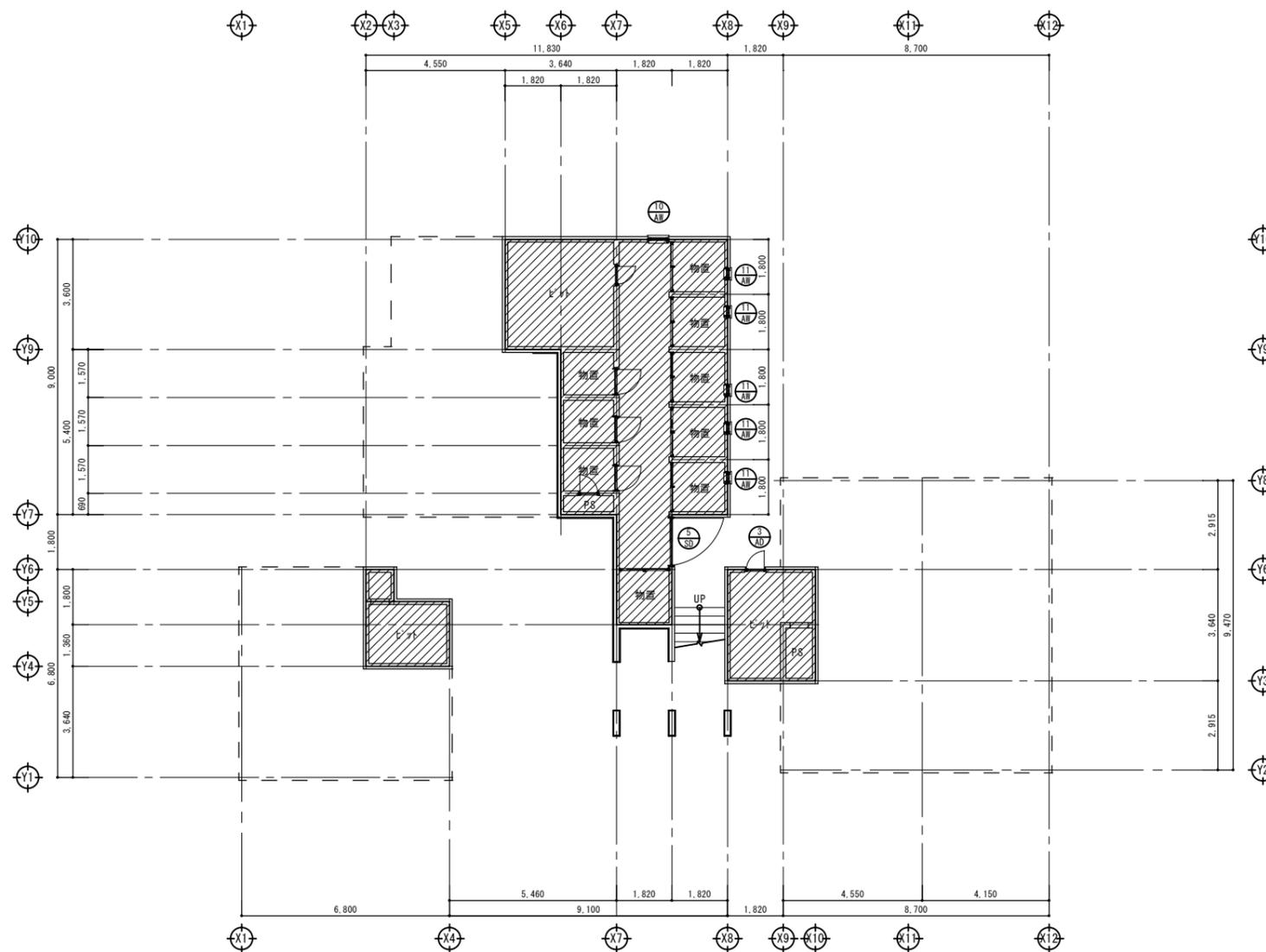


仮設工事特記事項

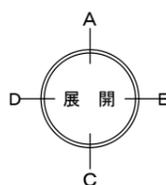
1. 本仮設計画は最低限度のものを示すものであり、作業内容、天候等により近隣住民、道路通行人（車）等に対し影響のある場合には受注者の責任に於いて速やかに対応すること。
2. 施工状況により足場等の盛替えが生じた場合は受注者が責任を持って対応すること。
3. 工事中の資材置場、工事車両侵入経路、などの仮設計画については監督員と協議を行い承諾を得ること。
4. 危険物等については十分に管理し、いたずら等が発生させないように保管を行うこと。



仮設計画図 S=1/150



1階平面図 S=1/100



凡例

⊕ : 建具記号を示す。

改修項目

壁面調査 (目視、打診調査)
既設外壁: コンクリート打放し 補修 RE吹付 → クレソ清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設
既設共用廊下等天井・壁: コンクリート打放し 補修 RE吹付 → クレソ清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設
既設外部建具 → 建具清掃 既設周囲シーリング撤去後シーリング新設
既設壁樋: VP φ100 VE塗装 → クレソ清掃 下地調整後非水分散塗料 NAD (ケレン系) 新設、取付金物点検後一部改修

特記事項

■ : 工事対象範囲外とする。

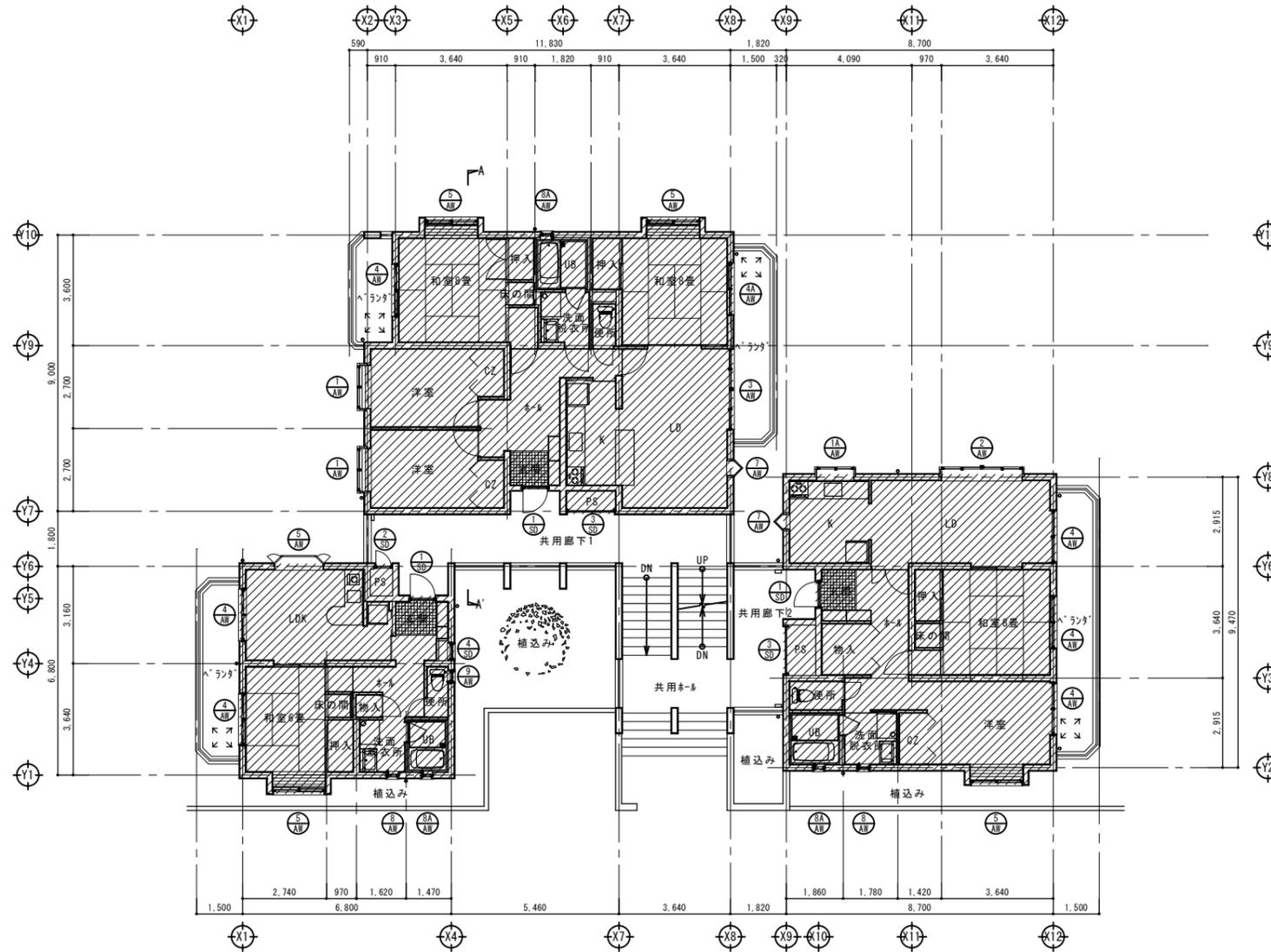
京福コンサルタント株式会社
福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770) 56-2345
一級建築士事務所 福井県知事登録第い-871号
一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝

令和6年7月

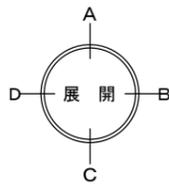
工事名称
福谷公舎 屋上防水・外壁改修工事
図面名称
1階平面図

縮尺
A1: 1/100
A3: 1/200

図面番号
A 07 / 21



2階平面図 S=1/100



凡例

○ : 建具記号を示す。

改修項目

- 壁面調査 (目視、打診調査)
- 既設外壁: コンクリート打放し 補修 RE吹付 → ケン清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設
- 既設共用廊下等天井・壁: コンクリート打放し 補修 RE吹付 → ケン清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設
- 既設外部建具 → 建具清掃 既設周囲シーリング撤去後シーリング新設
- 既設壁柱: VP φ100 VE塗装 → ケン清掃 下地調整後非水分散塗料 NAD (ケトン系) 新設、取付金物点検後一部改修

特記事項

斜線: 工事対象範囲外とする。

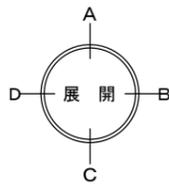
京福コンサルタント株式会社
 福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770) 56-2345
 一級建築士事務所 福井県知事登録第1-871号
 一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝

令和 6 年 7 月

工事名称
 福谷公舎(A棟) 屋上防水・外壁改修工事
 図面名称
 2階平面図
 縮尺
 A1: 1/100
 A3: 1/200
 図面番号
 A 08 / 21



3階・4階平面図 S=1/100



凡例

⊙ : 建具記号を示す。

改修項目

- 壁面調査 (目視、打診調査)
- 既設外壁: コンクリート打放し 補修 RE吹付 → クレソ清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設
- 既設共用廊下等天井・壁: コンクリート打放し 補修 RE吹付 → クレソ清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設
- 既設外部建具 → 建具清掃 既設周囲シーリング撤去後シーリング新設
- 既設壁種: VP φ100 VE塗装 → クレソ清掃 下地調整後非水分散塗料 NAD (ケレン系) 新設、取付金物点検後一部改修
- 既設共用廊下屋上: 塗膜防水 (X-1) → クレソ清掃後 塗膜防水新設 (L4X)

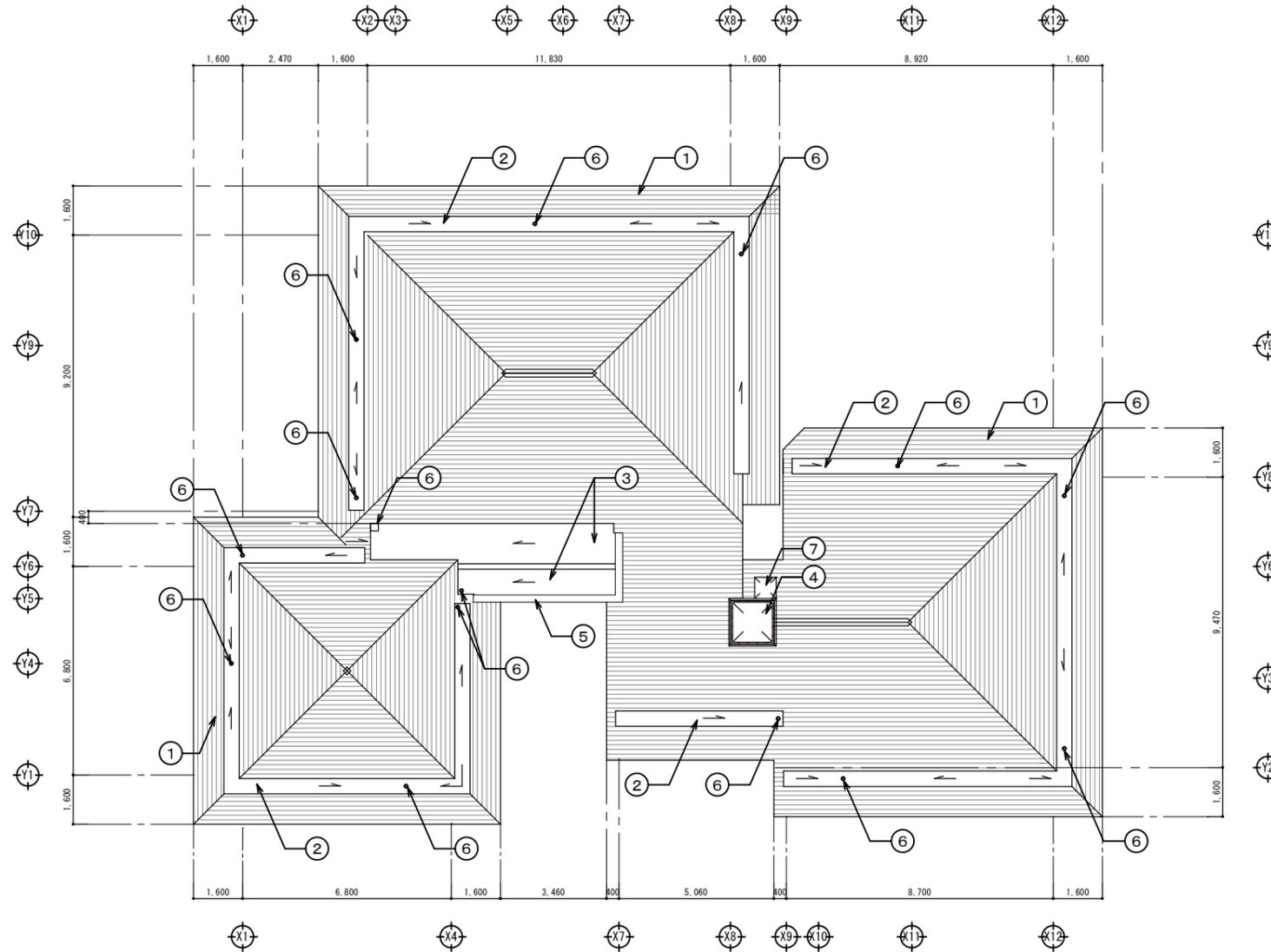
特記事項

⊘ : 工事対象範囲外とする。

京福コンサルタント株式会社
 福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770)56-2345
 一級建築士事務所 福井県知事登録第い-871号
 一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝

令和6年7月
 福谷公舎 屋上防水・外壁改修工事

図面名称
 3階・4階平面図
 縮尺
 A1: 1/100
 A3: 1/200
 図面番号
 A 09
 21



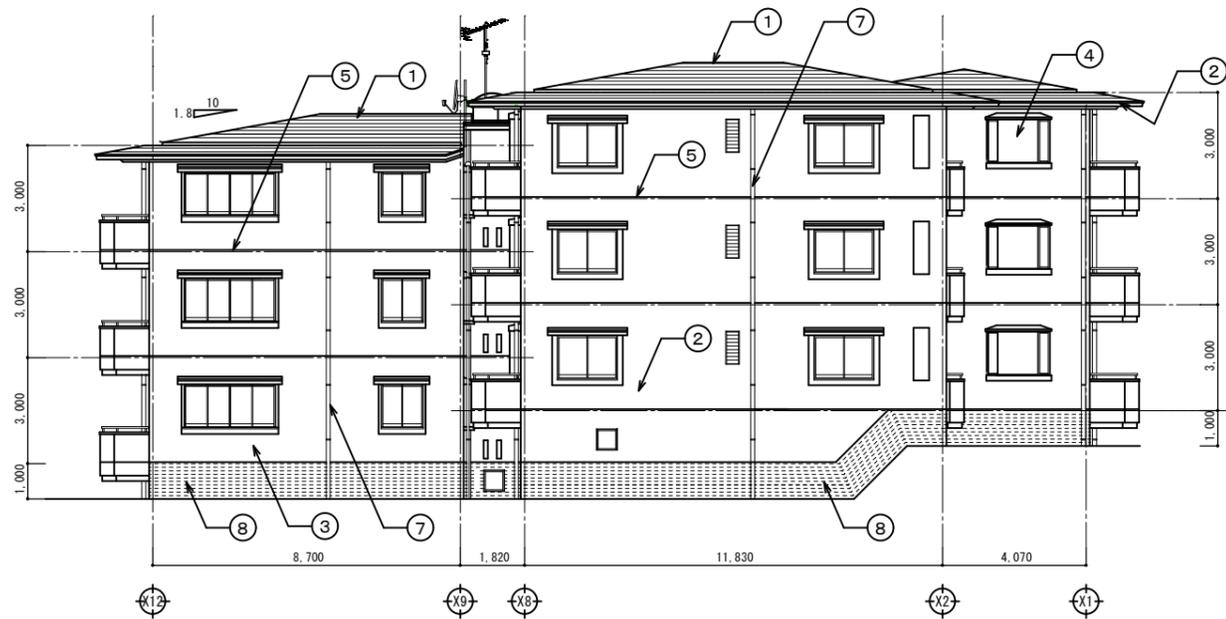
屋根伏図 S=1/100

改修項目

- ①: 既設屋根: アスファルトシングル葺き → 清掃不良箇所撤去後 アスファルトシングルかぶせ工法
- ②: 既設屋根軒先内樋: 塗膜防水 (X-1) → ケン清掃後 塗膜防水新設 (L4X)
- ③: 既設屋上: 塗膜防水 (X-1) → ケン清掃後 塗膜防水新設 (L4X)
- ④: 点検ハッチ: アクリル-M 1300角 → アクリル-M再利 / 立上り部分 既設アスファルトシングル撤去、アスファルトシングル新設
- ⑤: 7&8 笠木 W275 → 取り外し防水改修完了後復旧
- ⑥: R-フドレン(鋼鉄製) → 改修ドレン
- ⑦: アーチ架台 → 既設アーチ再利用、既設アスファルトシングル撤去、アスファルトシングル新設 / ガルバリウム鋼板見切、笠木新設 t=0.35

特記事項

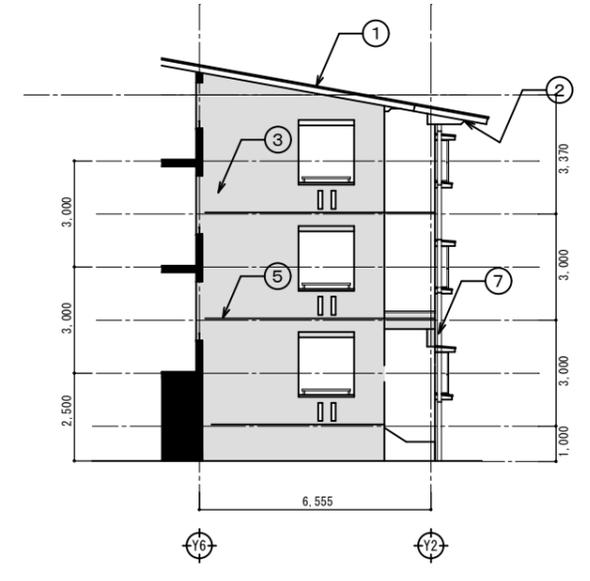
既設アスファルトシングルは石綿が含有しているとみなして撤去処分を行うこと。
BS7アーチは既設のままとする。



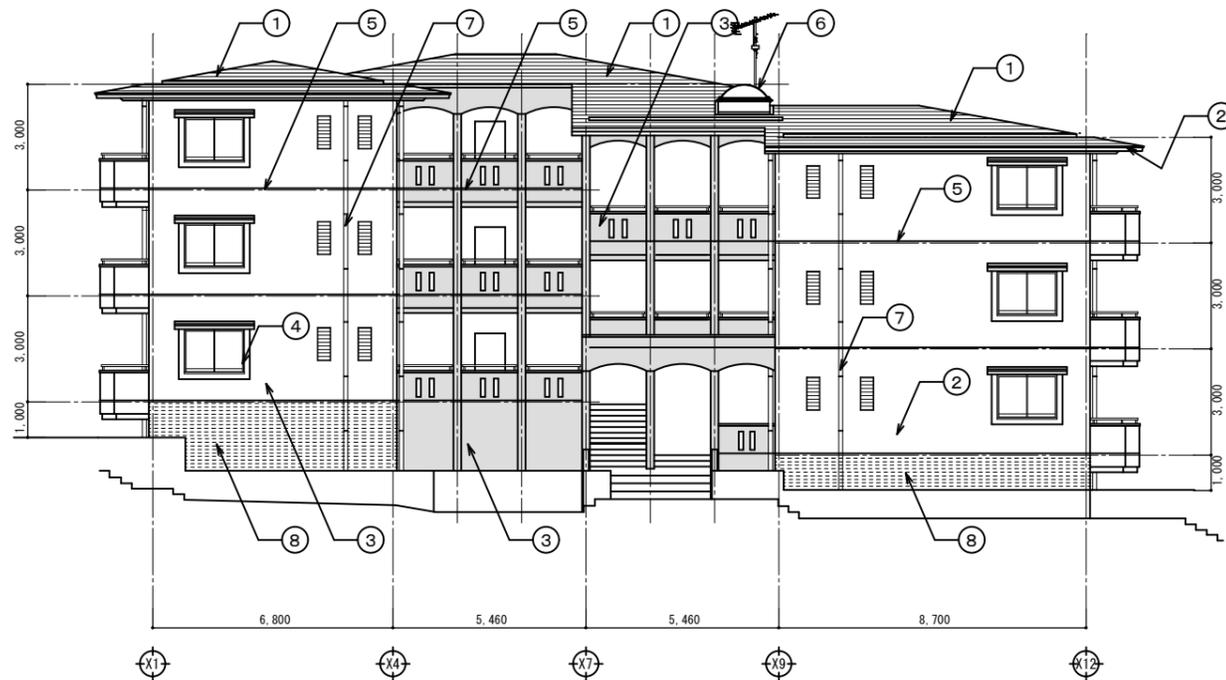
南側立面図 S=1/100



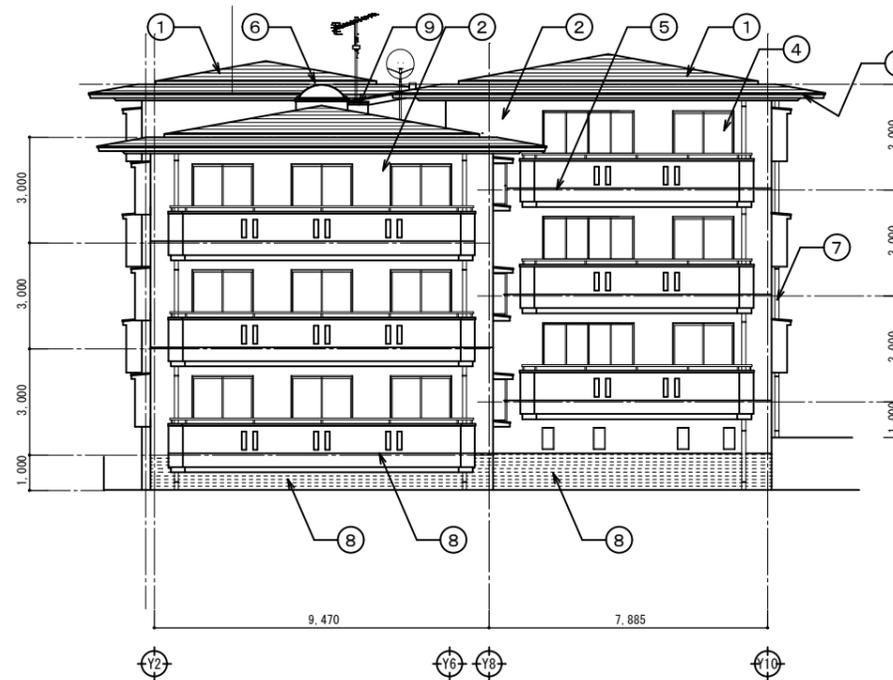
東側立面図 S=1/100



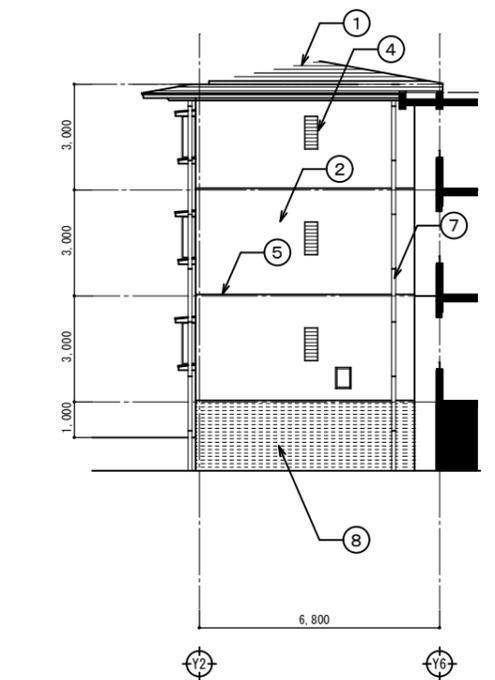
西側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100



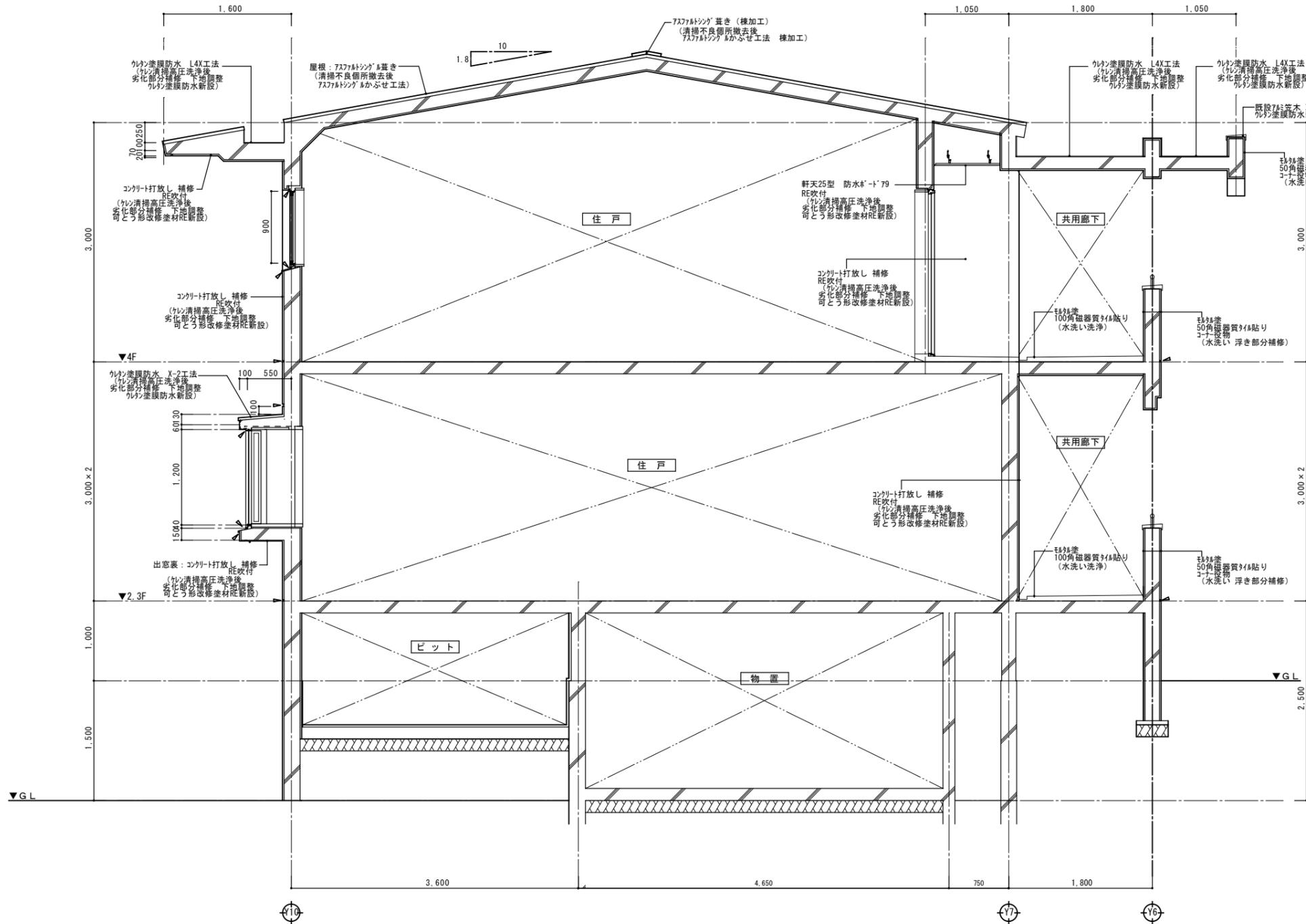
X4通り立面図 S=1/100

改修項目

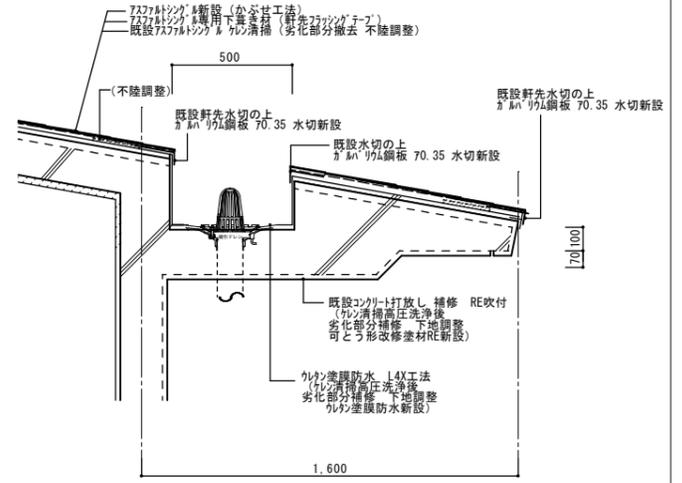
- ①: 既設屋根: アスファルトシングル葺き → 清掃不良箇所撤去後 アスファルトシングル葺き工法
- ②: 外壁・軒裏: コンクリート打ちし RE吹付 → 既設吹付 ケレン清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設
- ③: 外壁: 磁器質50角ユニットタイル (着色部) → 高圧洗浄
- ④: 外部建具 → 既設周囲シーリング撤去後シーリング (変性シリコン) 新設
- ⑤: 打継目地・タイル目地 → 既設シーリング撤去後シーリング (変性シリコン) 新設
- ⑥: 点検ハッチ: アクリド-4 1300角 → アクリド-4再利用 / 立上り部分 既設アスファルトシングル撤去、アスファルトシングル新設
- ⑦: 縦樋: VP φ100.75 VE塗装 SUS挿み金物 φ1,500 → 既設縦樋 ケレン清掃 (金物共) 下地調整非水分散塗料 NAD (ケルミン系) 新設、取付金物点検後一部改修
- ⑧: 基礎巾木: モルタル金釘押さえ → ケレン清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設
- ⑨: アンチ架台 → 既設アンチ再利用、既設アスファルトシングル撤去、アスファルトシングル新設 / ガルバリウム鋼板見切、笠木新設 t=0.35

特記事項

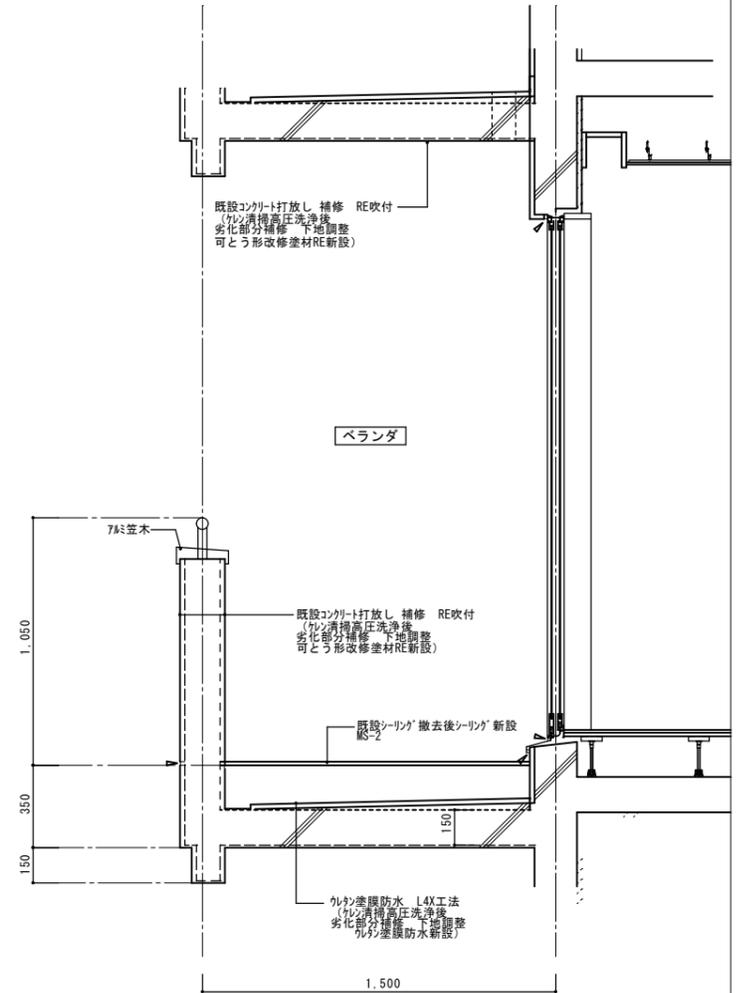
既設アスファルトシングルは石綿含有しているとみなして撤去処分を行うこと。
BSアンチは既設のままとする。



A-A' 矩計図 S=1/30

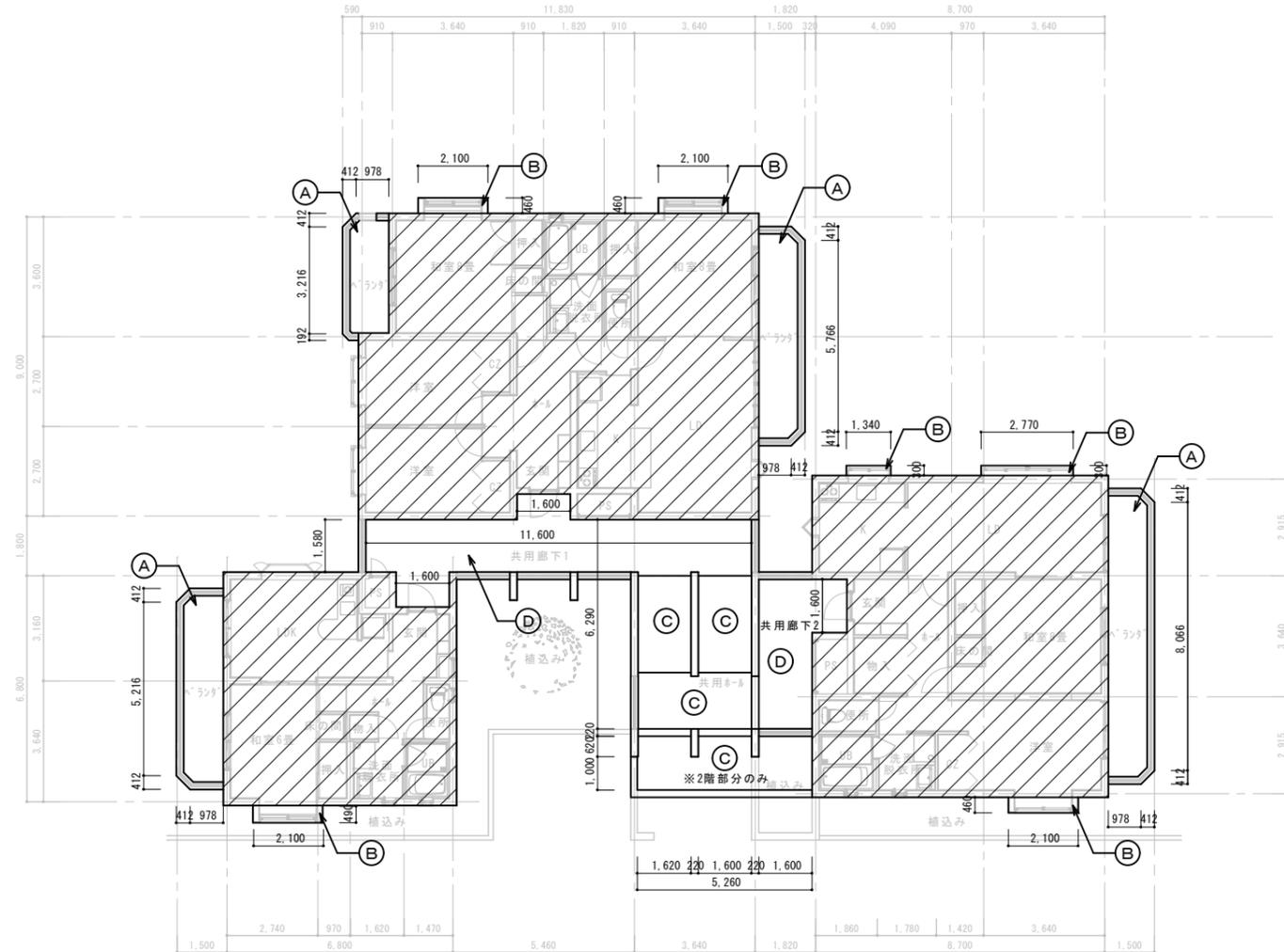


軒先部分詳細図 1/15



ベランダ詳細図 1/15

凡例
 ▲ : シーリング箇所を示す。



2・3階天井伏図 S=1/100



改修項目

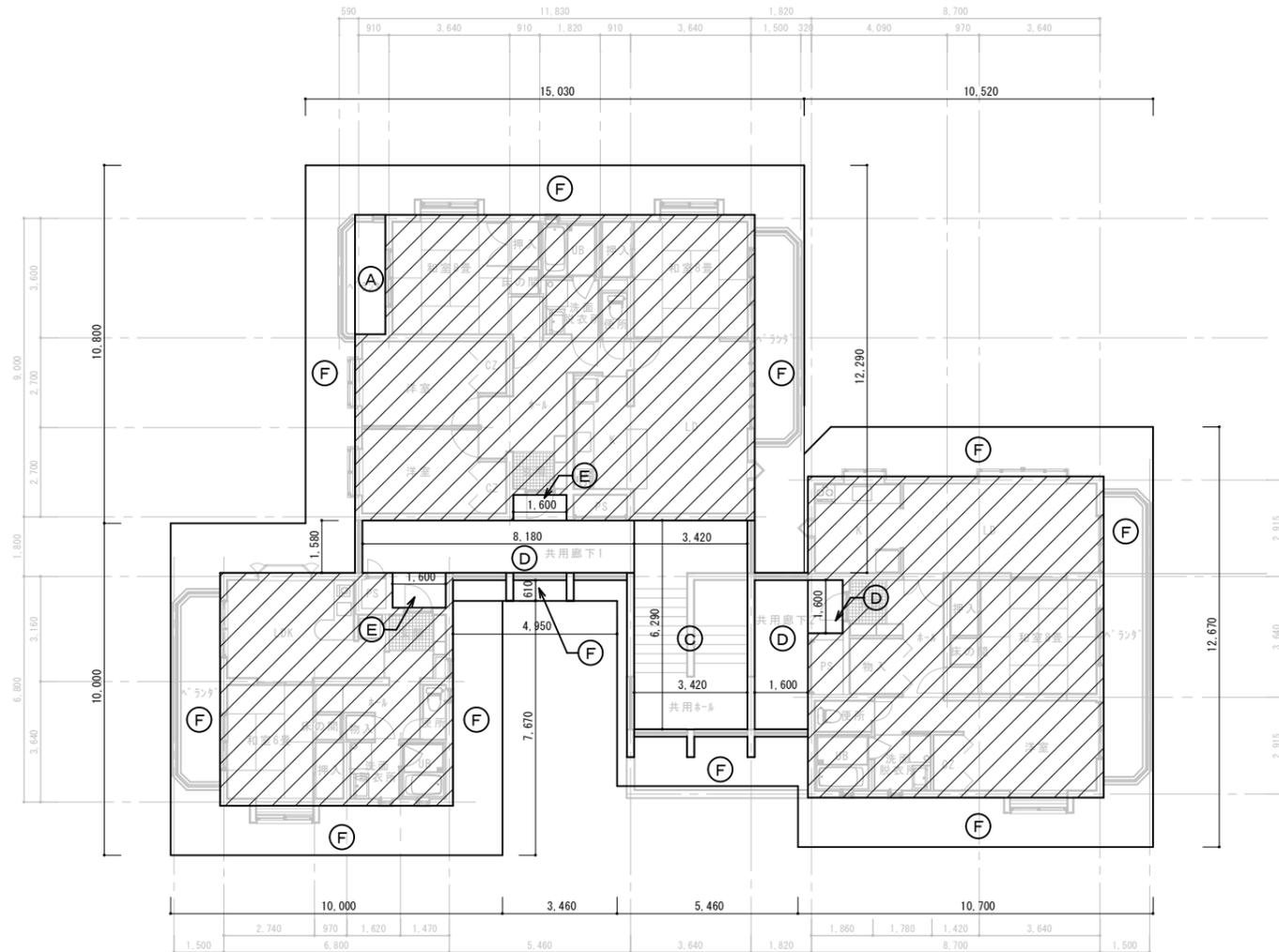
- Ⓐ (ベランダ) : コンクリート打放し 補修 RE吹付 → ケン清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設
- Ⓑ (出窓) : コンクリート打放し 補修 RE吹付 → ケン清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設
- Ⓒ (共用廊下天井) : コンクリート打放し 補修 RE吹付 → ケン清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設
- Ⓓ (共用廊下天井) : コンクリート打放し 補修 RE吹付 → ケン清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設


京福コンサルタント株式会社
 福井県小浜市多田11号2番地1 TEL : (0770) 56-2345
 一級建築士事務所 福井県知事登録第い-871号
 一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝

令和 6 年 7 月
 工事名称
 福谷公舎 屋上防水・外壁改修工事

図面名称
 天井伏図その1
 縮尺
 A1 : 1/100
 A3 : 1/200

図面番号
 A 13
 21



4階天井伏図 S=1/100



改修項目

- Ⓐ (ベランダ) : コンクリート打放し 補修 RE吹付 → ケン清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設
- Ⓑ (出窓) : コンクリート打放し 補修 RE吹付 → ケン清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設
- Ⓒ (共用廊下天井) : コンクリート打放し 補修 RE吹付 → ケン清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設
- Ⓓ (共用廊下天井) : 防水ボード RE吹付 → ケン清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設
- Ⓔ (軒裏) : コンクリート打放し 補修 RE吹付 → ケン清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設


京福コンサルタント株式会社
 福井県小浜市多田11号2番地1 TEL : (0770) 56-2345
 一級建築士事務所 福井県知事登録 第い-871号
 一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝

令和 6 年 7 月	工事名称 福谷公舎 屋上防水・外壁改修工事	図面番号 A 14
	図面名称 天井伏図その 2	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200
		21

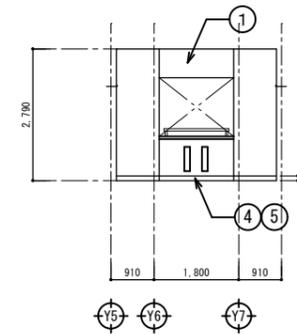
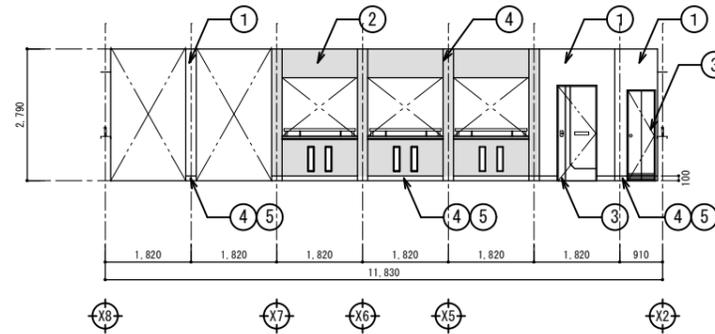
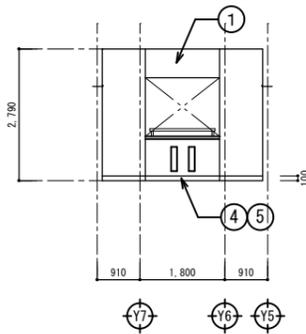
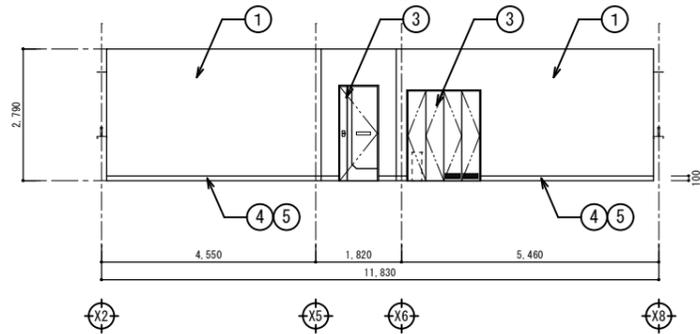
2・3階共用廊下1 S=1/75

【 A 】

【 B 】

【 C 】

【 D 】



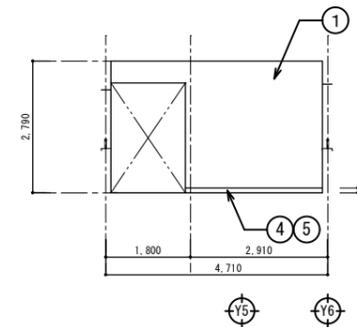
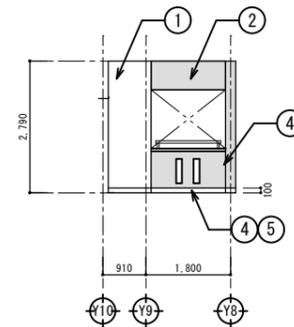
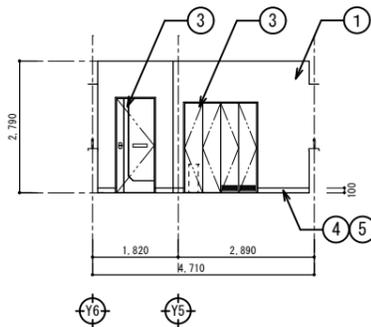
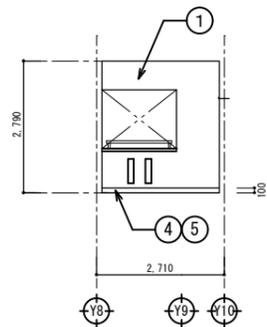
2・3階共用廊下2 S=1/75

【 A 】

【 B 】

【 C 】

【 D 】



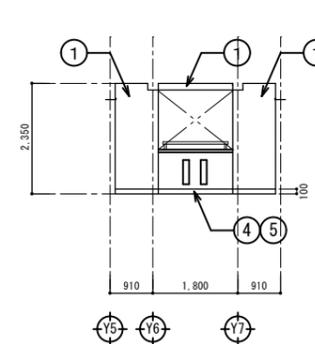
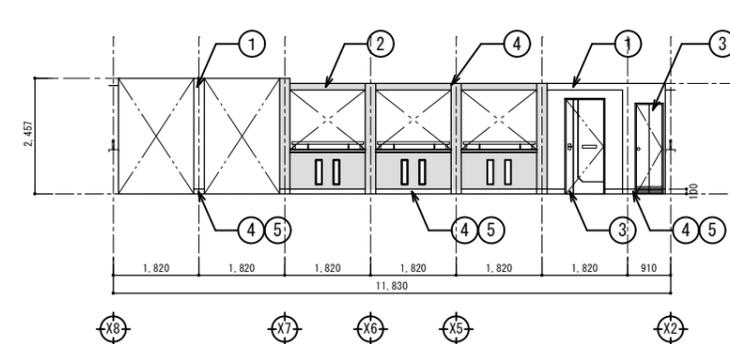
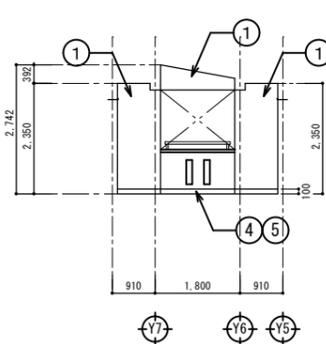
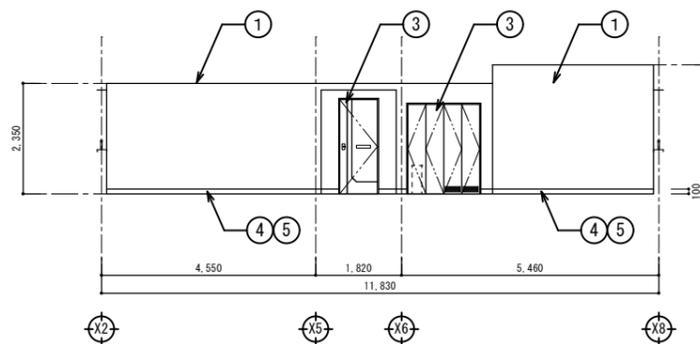
4階共用廊下2 S=1/75

【 A 】

【 B 】

【 C 】

【 D 】



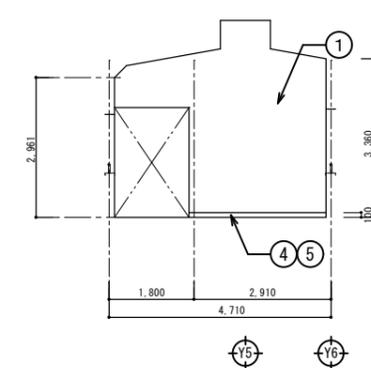
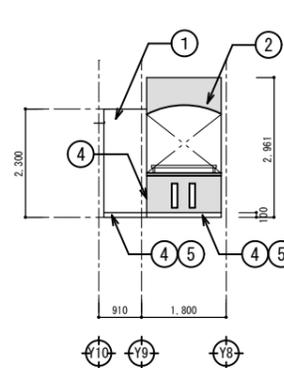
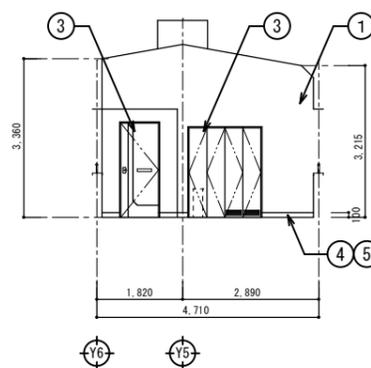
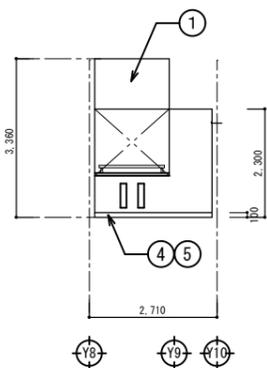
4階共用廊下2 S=1/75

【 A 】

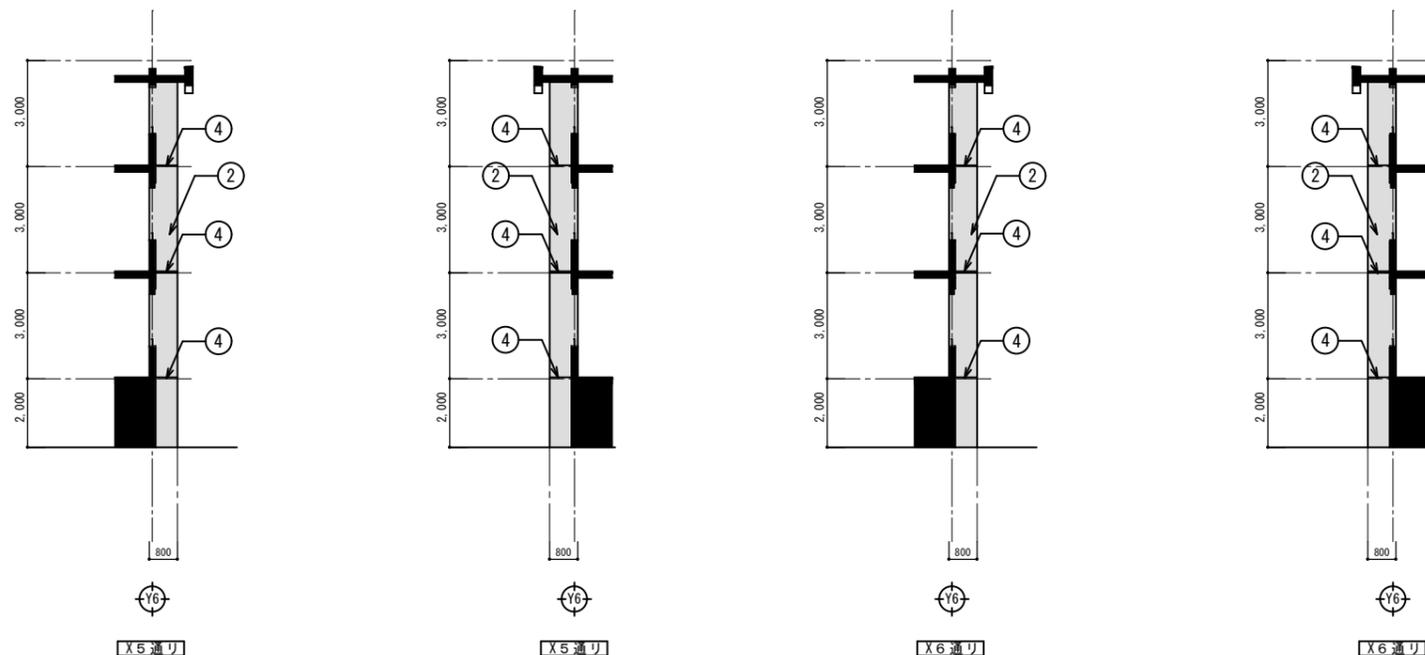
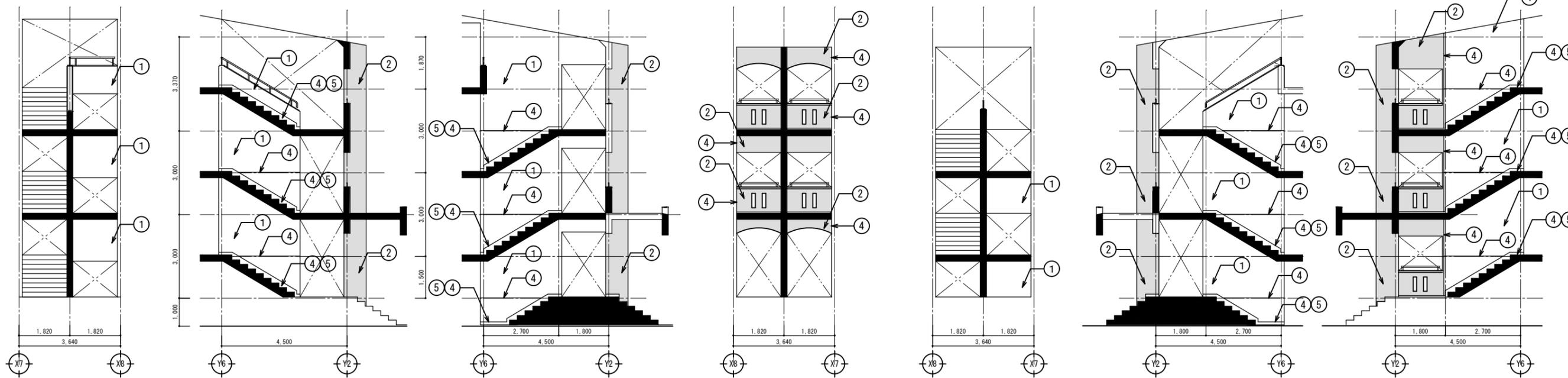
【 B 】

【 C 】

【 D 】



- 改修項目
- ①: 内壁: コンクリート打放し RE吹付 → 既設吹付 ケン清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE (フッ素系) 新設
 - ②: 内壁: 磁器質50角ユニット床 (着色部) → 高圧洗浄
 - ③: 建具 → 既設周囲シーリング 撤去後シーリング (変性シリコ) 新設
 - ④: 打継目地・タイル目地 → 既設シーリング 撤去後シーリング (変性シリコ) 新設
 - ⑤: モザック巾木 → 高圧洗浄



- 改修項目**
- ①：内壁：コンクリート打放し RE吹付 → 既設吹付 ケン清掃高圧洗浄後劣化部分補修 下地調整 可とう形改修塗材RE（フッ素系）新設
 - ②：内壁：磁器質50角ユニットタイル（着色部） → 高圧洗浄
 - ③：建具 → 既設周囲シーリング撤去後シーリング（変性シリコ）新設
 - ④：打継目地・タイル目地 → 既設シーリング撤去後シーリング（変性シリコ）新設
 - ⑤：モザイク巾木 → 高圧洗浄

京福コンサルタント株式会社
 福井県小浜市多田11号2番地1 TEL：(0770)56-2345
 一級建築士事務所 福井県知事登録第1-871号
 一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝

令和 6 年 7 月	工事名称 福谷公舎 屋上防水・外壁改修工事	図面番号 A 16
	図面名称 展開図その 2	縮尺 A1：1/75 A3：1/150

記号・数量	$\frac{1}{SD} \times 9$ (玄関)	$\frac{2}{SD} \times 3$ (PS)	$\frac{3}{SD} \times 6$ (PS ES)	$\frac{4}{SD} \times 1$ (PS)	$\frac{5}{SD} \times 1$ (階段)	$\frac{1}{AW} \frac{1A}{AW} \times 6 + (3)$ (洋室)
形状						
形式	片開き玄関ドアフラッシュ	片開きPSドア、スチール	片開きPSドアスチール	スチール点検ドア	スチール片開きフラッシュ戸 常閉 (甲防)	7mmそで付引違い出窓
見込	80	60	60	60	100	70
材質・仕上	スチール 塩ビ化粧	スチール SOP			SOP塗	シルバー
硝子						透明
備考 (改修内容)	YKK、LETECLA II 含等品					網戸

記号・数量	$\frac{2}{AW} \times 3$ (L)	$\frac{3}{AW} \times 3$ (L)	$\frac{4}{AW} \frac{4A}{AW} \times 9 + (12)$ (洋室 L 和室)	$\frac{5}{AW} \times 12$ (洋室 和室)	$\frac{6}{AW} \times 3$ (LDK)	$\frac{7}{AW} \times 6$ (DK)
形状						
形式		4本立て7mm引違い戸	2本立7mm引違い戸	引違い7mmサッシ	7mm台形出窓	7mm台形出窓
見込	70	70	70	70		
材質・仕上					シルバー	シルバー
硝子					透明	透明
備考 (改修内容)						

記号・数量	$\frac{8}{AW} \frac{8A}{AW} \times 6 + (9)$ (脱衣室) (UB)	$\frac{9}{AW} \times 3$ (便所)	$\frac{10}{AW} \times 1$ (廊下)	$\frac{11}{AW} \times 5$ (物置)	$\frac{3}{AD} \times 1$	
形状						
形式	7mm引違い窓		7mm突出し窓	はめ殺し窓	7mm点検ドア	
見込	70		70	70	70	
材質・仕上	シルバー				シルバー	
硝子	型板ガラス		網入型板ガラス			
備考 (改修内容)	網戸					



南側立面図 S=1/100

東側立面図 S=1/100

X9通り立面図 S=1/100

X9通り立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100

西側立面図 S=1/100

X8通り立面図 S=1/100

X4通り立面図 S=1/100

- 凡例
- : クラックを示す
 - × : バクレツを示す
 - ★ : タイル浮きを示す。
 - ▨ : 欠損箇所を示す

※ひび割れ補修等は、施工数量調査を行い、監督員による確認後施工すること。

- <施工数量調査>
- ・調査項目 クラック、剥がれ及び剥落部、浮き部
 - ・調査方法 打診、目視及びクラックスケール等
 - ・報告書 1部 (A4版)

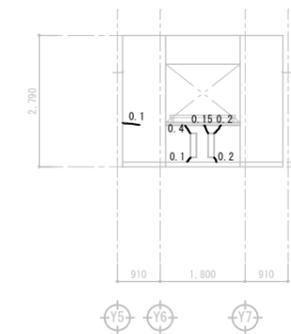
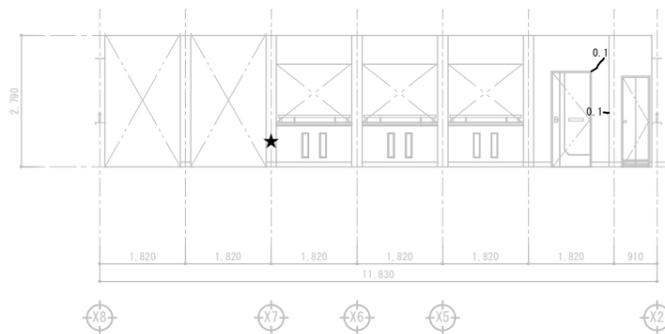
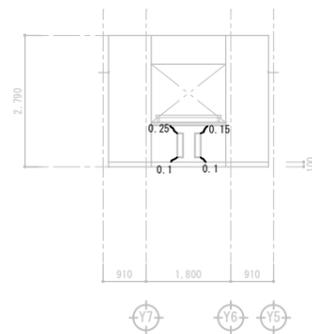
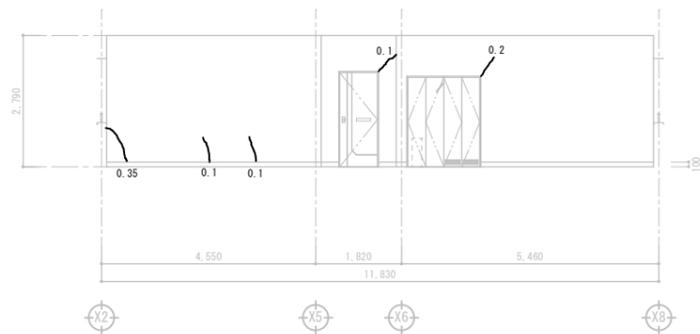
2階共用廊下1 S=1/75

【 A 】

【 B 】

【 C 】

【 D 】



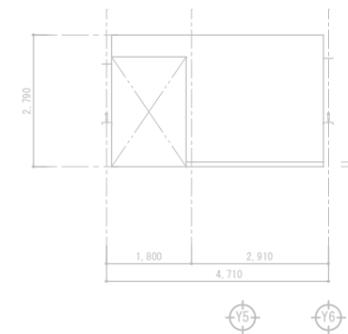
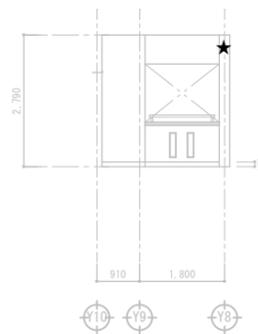
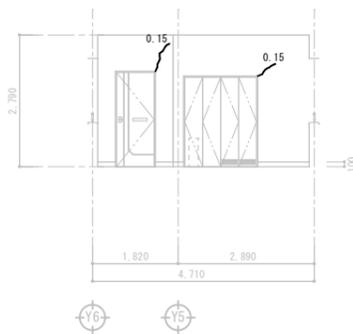
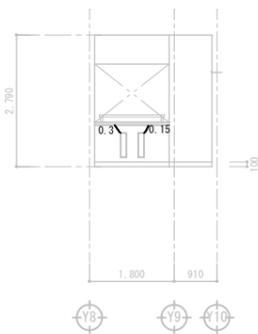
2階共用廊下2 S=1/75

【 A 】

【 B 】

【 C 】

【 D 】



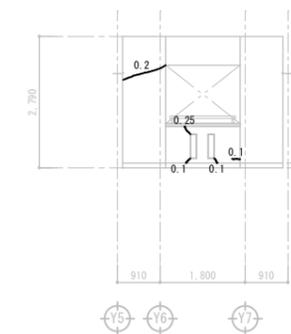
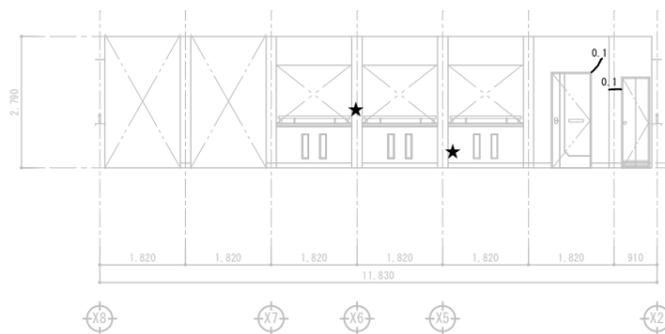
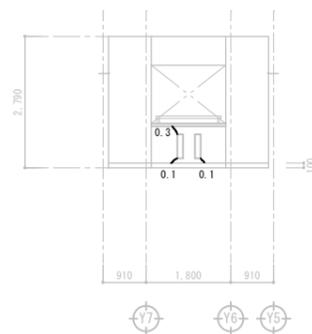
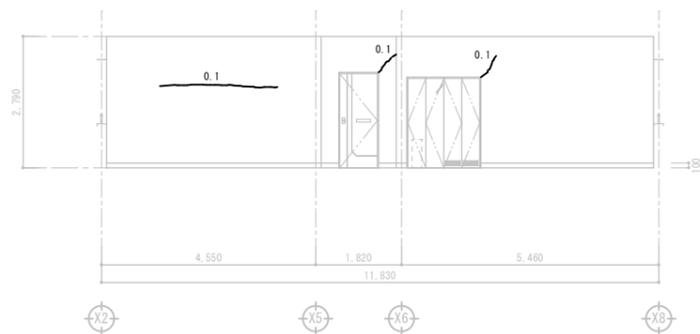
3階共用廊下1 S=1/75

【 A 】

【 B 】

【 C 】

【 D 】



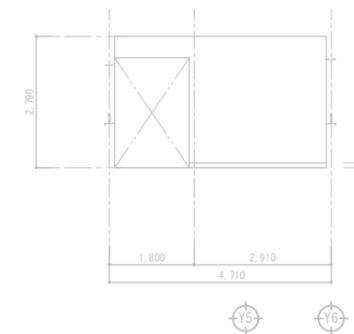
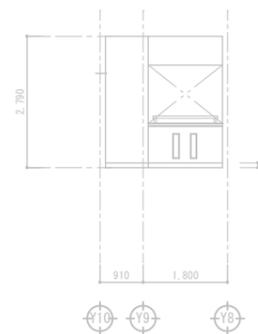
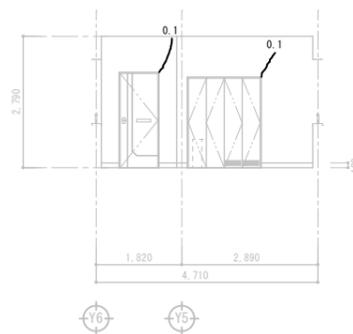
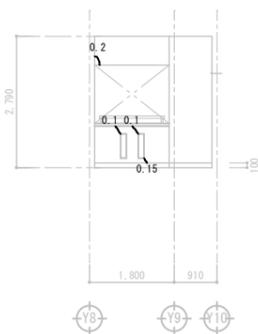
3階共用廊下2 S=1/75

【 A 】

【 B 】

【 C 】

【 D 】



凡例

- : クラックを示す
- × : バクレツを示す
- ★ : タイル浮きを示す。
- ▨ : 欠損箇所を示す

※ひび割れ補修等は、施工数量調査を行い、監督員による確認後施工すること。

<施工数量調査>

- ・調査項目 クラック、剥がれ及び剥落部、浮き部
- ・調査方法 打診、目視及びクラックゲージ等
- ・報告書 1部(A4版)

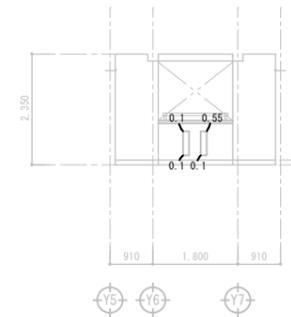
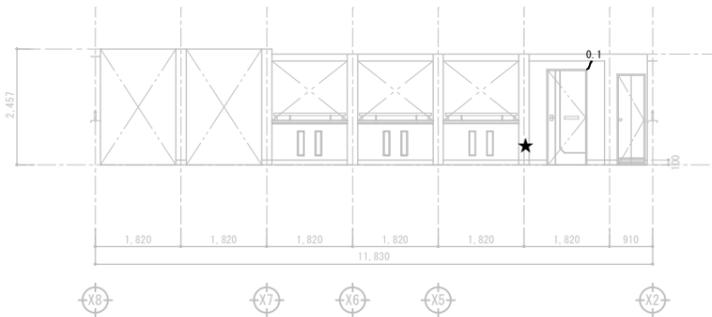
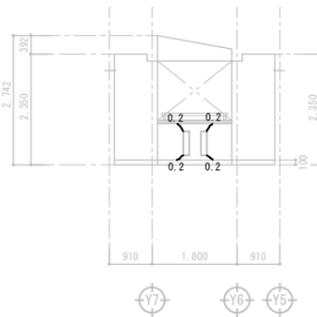
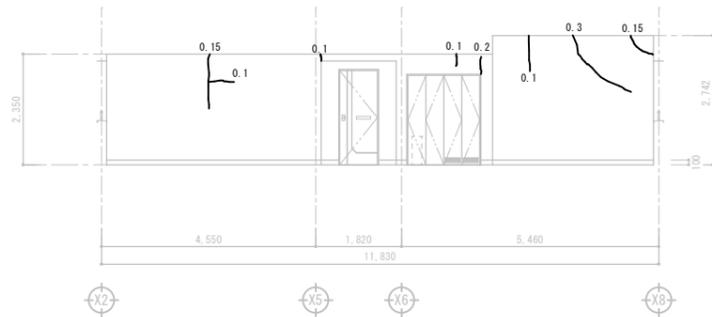
4階共用廊下1 S=1/75

【 A 】

【 B 】

【 C 】

【 D 】



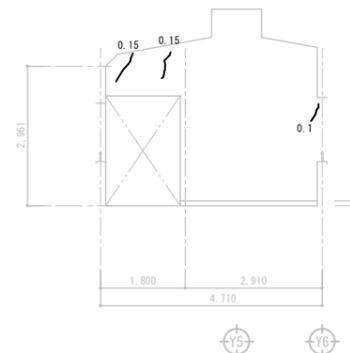
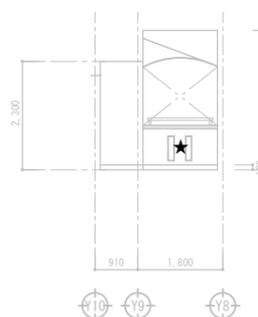
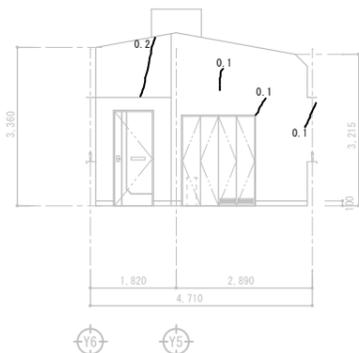
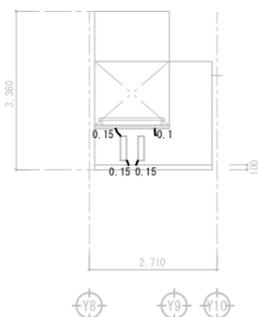
4階共用廊下2 S=1/75

【 A 】

【 B 】

【 C 】

【 D 】



凡例

- : クラックを示す
- × : バクレツを示す
- ★ : タイル浮きを示す。
- ▨ : 欠損箇所を示す

※ひび割れ補修等は、施工数量調査を行い、監督員による確認後施工すること。

<施工数量調査>

- ・調査項目 クラック、剥がれ及び剥落部、浮き部
- ・調査方法 打診、目視及びクラックスケール等
- ・報告書 1部 (A4版)

共用廊下 S=1/75

【 A 】

【 B 】

【 B 】

【 C 】

【 C 】

【 D 】

【 D 】

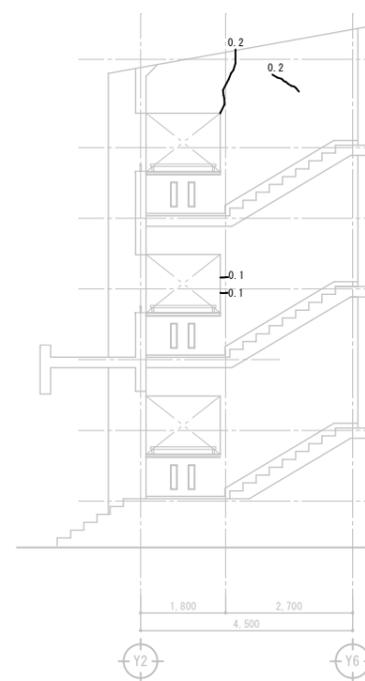
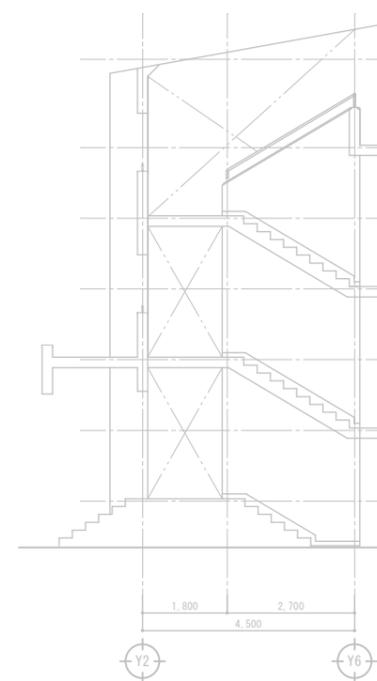
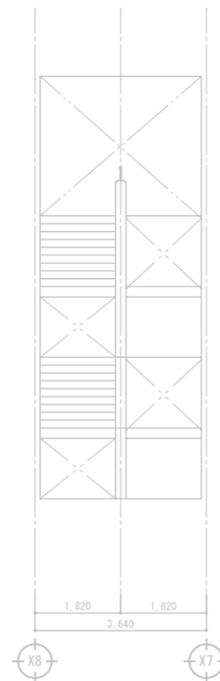
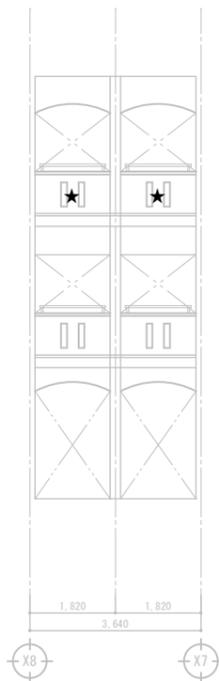
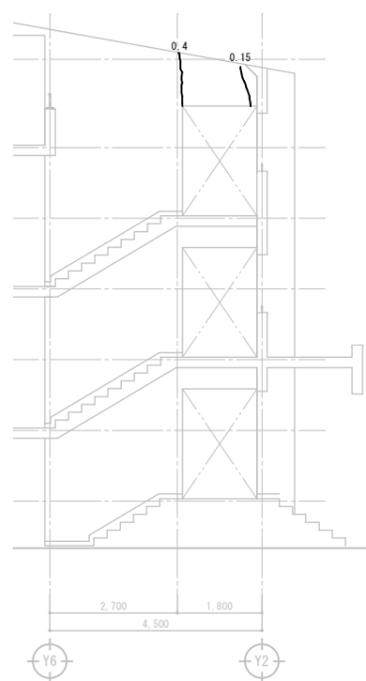
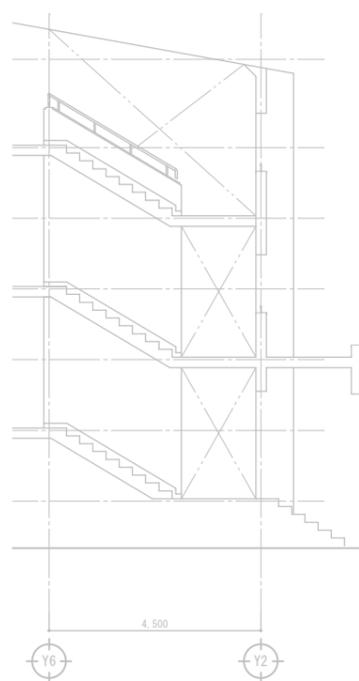
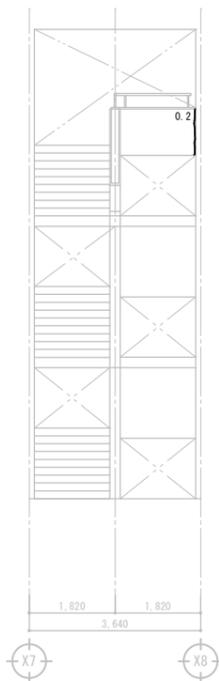
※X7-X8中間通り

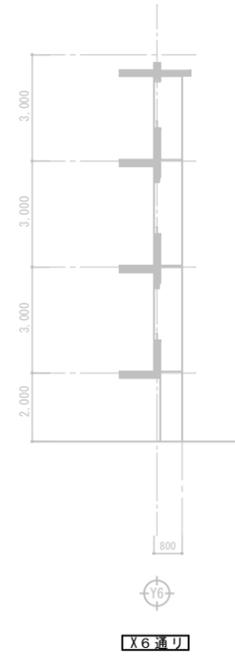
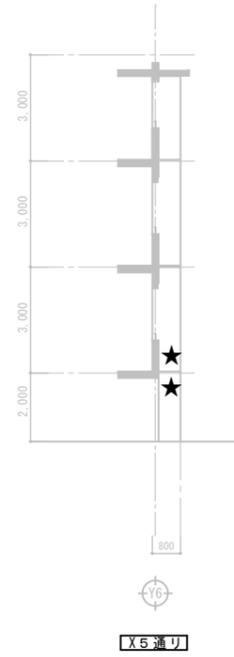
※X8通り

※Y2通り

※X7-X8中間通り

※X7通り





凡例

- : クラックを示す
- × : バクレツを示す
- ★ : タイル浮きを示す。
- ▨ : 欠損箇所を示す

※ひび割れ補修等は、施工数量調査を行い、監督員による確認後施工すること。

<施工数量調査>

- ・調査項目 クラック、剥がれ及び剥落部、浮き部
- ・調査方法 打診、目視及びクラックスケール等
- ・報告書 1部 (A4版)